



政府統計

報道関係者 各位

令和4年7月29日

【照会先】

政策統括官付参事官付保健統計室

室長 高山 研

室長補佐 鳥羽 直弥

受療行動統計係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7518)

(直通電話) 03(3595)2958

## 令和2(2020)年受療行動調査(確定数)の結果を公表します

厚生労働省では、このほど、「令和2(2020)年受療行動調査(確定数)」の結果を取りまとめましたので公表します。

受療行動調査は、医療施設を利用する患者に対し、医療を受けた時の状況や満足度などについて、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的に、3年ごとに実施しています。

この調査結果は、「令和2(2020)年受療行動調査(概数)」(令和3年9月13日公表)について、「令和2(2020)年医療施設(静態)調査(確定数)」(令和4年4月27日公表)及び「令和2年(2020)患者調査(確定数)」(令和4年6月30日公表)とのデータ・リンケージ及び再集計により、概数であった数値を確定数とし、さらに患者調査の調査項目とのクロス集計により新たな図表を追加したものです。

### 【調査結果のポイント】

#### ○自覚症状(主な傷病分類別、外来患者のみ)

受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時に「自覚症状がなかった」者は、「新生物<腫瘍>」で47.0%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で45.1%であり、他の傷病と比べ高い。

悪性新生物<腫瘍>について「自覚症状がなかった」が多かったものは「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」66.0%、「前立腺の悪性新生物<腫瘍>」65.0%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>」57.2%。【13頁 図12】

#### ○今後の治療・療養の希望(性・年齢階級別、入院患者のみ)

今後の治療・療養の希望が「完治するまでこの病院に入院していきたい」は、男 45.3%、女 45.8%、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」は、男 32.5%、女 27.8%。

年齢階級別では、男の15~39歳、男女とも40~64歳で「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が最も多い。【17頁 表9】

詳細は、別添概況をご覧ください。